

豊田合気道クラブ

加盟チーム数 8チーム
加盟人数 154名
代表者 水野 恵助
創立年 平成15年4月

HP: www.shizuoka-yoshinkan.com

E-mail: aikido@shizuoka-yoshinkan.com

【組織】

〈組織の変遷〉

- 昭和50年 財合気道養神会より静岡県の正式支部として認可を受ける
- 平成06年 磐田道場（旧豊田道場）設立
- 平成09年 アメリカケンタッキー大学に国際合気道連盟認定道場設立
- 平成10年 磐田道場にて少年部スタート
- 平成15年 合気道養神館静岡支部の一団体として、旧豊田町に豊田合気道クラブを設立し、体育協会加盟
- 平成16年 豊田合気道クラブ創立一周年記念公開演武会開催
- 平成17年 磐南5市町村体育協会合併に伴い、活動の範囲を福田地区まで拡大
合気道養神館静岡支部三十周年記念演武大会（国内、海外から総勢300人参加）に協賛
- 平成18年 当クラブ主催静岡県西部地区養神館合気道少年少女大会スタート
- 平成20年 全国大会初出場（18名）

〈役員の変遷〉

師範 水野恵助

合気道養神館静岡支部支部長、1963年生まれ。18歳のときから大阪で合気道修行。大学卒業後地元の磐田に戻り、師匠の竹下登之助師範のもと養神館合気道の修行を開始。92年に指導者資格取得後、磐田市を中心に合気道普及活動を行う。96年より5年間、アメリカ合衆国ケンタッキー州に在住し、ケンタッキー大学にて合気道を指導、01年に帰国するも現在も尚アメリカ、カナダにおいて継続的に巡回指導を行っている。平成15年に豊田合気道クラブを設立し同時に旧豊田町体育協会に加盟、地元密着型の合気道クラブとして普及活動を行っている。

【現在の活動状況】

〈合気道の魅力〉

合気道は相手のことを考える武道である。相手がどのように考え、どうしたいかをいち早くキャッチ

し、相手の力（気持ち）を利用し制する。したがって力はほとんど必要とせず、老若男女誰でもでき、特に礼儀作法、健康維持、女性の為の護身術などに最適と言える。



水野恵助師範の模範演武

〈活動状況〉

豊田合気道クラブでは、親子のできる「ファミリーコース」、簡単な英語も一緒に学べる「イングリッシュコース」、小学生対象の「少年少女コース」、一般の大人の方対象の「一般コース」が設定されており、それぞれの目的に合わせた稽古が可能である。現在100名を超える小学生以下の子供たちが元気よく稽古に励んでいる。また50名を超える大人の方々も頑張っている。

〈静岡県西部地区養神館合気道少年少女大会〉

平成18年から当クラブ主催の少年少女合気道大会をスタートした。この大会は「静岡県西部地区養神館合気道少年少女大会」と称され、大会名の通り静岡県西部地区で開催される合気道大会としては、少年少女のみの競技として初めての大会となった。大会の目的は普段稽古を行っている少年少女たちの日ごろの稽古の成果を発表するとともに、子供たちに何か目標を持たせることで子供達自身の成長と養神館合気道の継続意識の向上につながってくればとということで企画された。



第3回静岡県西部地区養神館合気道少年少女合気道大会

〈親子体験教室〉

年一回、親子合気道教室を開催。対象は、幼稚園児とそのお父さんまたはお母さん。親子の絆を大切に、親子一緒になって稽古を行うことでお互いの気持ちを理解しあう優しさが身に付く。



〈護身術講座〉

合気道は、手を掴まれた、胸座を掴まれた、顔面を殴られそうになった、後ろから抱きつかれた、など、あらゆる状況からの対処法をできるだけ小さな力に対応できるよう稽古を行う。年一回護身術講座を開催し、毎年女性中心の人気講座となっている。



護身術講座

〈今後の展望〉

合気道は、人生における精神修行の一つと言っても過言ではない。普段あまり接することのないたくさんの子供たちと接し、いろいろな分野の大人の方々と稽古を行い、何かを感じ、それを一つのバネにし人生に役立てる、子供たちは学校生活、大人の方は社会生活における心の持ち方などについて、合気道を通じて少しずつ勉強し強い精神力を身につけられるよう日々切磋琢磨する。敵が来たら真っ向勝負ではなく、少し力を抜いて、相手の力をうまく利用し、自分自身の気持ちを落ち着かせ、何事にも平常心で対応する、このようなことができれば、平和で穏やかな世界となっていくであろう。豊田合気道クラブは、合気道を通じ地域のスポーツ発展および平和な地域社会を目指していく。

Aikido 養神館
of Shizuoka